

センター通信

「子ども達とのふれあいを大切に」



伊丹市少年補導委員連合会
会長 宮北 涼子

少年補導委員を引き受けて、早 24 年が終わろうとしています。この間、平成 17 年からは伊丹市少年補導委員連合会の会長として、子ども達の健全育成に努めてまいりました。これまでご支援いただきました少年補導委員の皆様をはじめ、関係機関、地域、関係諸団体の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ところで、この数年を振り返ってみても、子ども達を取り巻く社会環境は驚くほど変化しています。特に、スマートフォンに代表される情報機器の進展・普及には驚くばかりです。伊丹市の調査（平成 26 年 12 月実施）では、携帯電話やスマートフォンの所有率は小学校高学年で 5 割超、中学生で 6～7 割、高校生では 10 割近いそうです。

子ども達はこうした情報機器を文房具のように上手に使いこなし、今や生活には欠かせないツールの 1 つになっています。ところが、私たち大人はどうでしょう。従来の携帯電話で十分の私には今の子ども達についていけないのが現状です。

このように社会環境の変化は子ども達にも大きな変化をもたらしています。以前は、公園でボール遊びをしたり、かけっこをしたり、遊具遊びをするのが普通でした。ところが、最近子ども達がそれぞれゲーム機に向かって隣の子と会話もしないで遊んでいる場面によく出会います。人間味に欠ける何か冷たいものを感じるのは私だけでしょうか。また、家庭内でもコミュニケーションが希薄になっているという話をよく耳にします。同時に、地域の大人も子ども達に声をかけることが以前より随分少なくなったように思います。

私は今までいろいろな子ども達に出会ってきましたが、いつも大切にしてきたことは子どもに本気で向き合うということでした。優しくする時は優しく、叱る時は叱る。口うるさい恐いおばさんと思われても、いつも自然体で子ども達に接していたと思います。自分自身どこか単純だからそうできたのかも知れませんが、こうした姿勢を貫くことによってたくさんの子ども達と人間的なふれあいができたように思います。そして、その基本にあったのが積極的な声かけでした。

伊丹市内には 1000 台の防犯カメラが設置されますが、それにも増して近所の大人の目、子ども達を見守る地域の人間の存在が大事だと思います。私はこの 3 月に少年補導委員を辞めますが、これまで続けてきた盆踊りや民謡の指導を通して、また地域の住民として子ども達に積極的に関わっていこうと思っています。こうして原稿を書いている間も、コンビニや公園でたむろしている中高生に積極的に声かけをしている自分が脳裏に浮かんできます……。

日頃は少年愛護センターの事業に多くの関係者の方々にご協力をいただいています。感謝申し上げます。

年度末にあたり、各活動のまとめを報告いたします。

街頭補導活動

伊丹市内で131名の少年補導委員が、毎月平均4回、各小学校区のブロックごとに、補導を行っています。下記の表は、4月から2月までの補導件数の集計です。

◆街頭補導の件数 《平成28年2月末まで》

	幼小	中	高他	大人	合計
声かけ 会話等	4,811 (3,916)	1,082 (786)	693 (507)	1,341 (786)	7,927 (5,995)
あいさつ	3,459	790	628	1,819	6,696
遊びに 関して	375 (279)	280 (119)	204 (84)	0 (19)	859 (501)
ぐ犯・ 不良行 為	6 (10)	34 (61)	131 (65)	0 (6)	171 (142)
交通に 関して	171 (262)	165 (283)	433 (435)	1,202 (1,016)	1,971 (1,996)
計	552 (551)	479 (463)	768 (584)	1,202 (1,041)	3,001 (2,639)

() 内は昨年同期の数です。

- 今年度から、〈声かけ・会話等〉と〈あいさつ〉を分けて報告しています。常日頃から声をかけること・あいさつをすることで、少年補導委員に親しみを持ってもらおうと取り組んでいます。その成果が顕著に表れ、昨年を大幅に上回る結果となりました。
- 補導総数は3,001人で、昨年同期の2,639人と比べて362人増加しています。
- 〈遊びに関すること〉では、昨年が501人、今年は859人とかなり増加しています。特に高校生等への声かけが120人も増加しています。これは、夕刻や夜間に公園等での高校生男女のペアを見かけることが多くなり、少年補導委員が積極的に声をかけている結果です。
- 〈ぐ犯・不良行為〉では、小中学生の数はかなり減少しています。反面高校生の「喫煙」「夜遊び」の数が倍増しています。
- 〈交通に関すること〉では、昨年は1,996人、今年は1,971人とほぼ同数でしたが、全体の61%は大人が占めています。子どもの見本となる大人が交通マナーを守るよう心がけていかなければいけないと思います。

3月の主な行事

- 4日(金) 合同教育相談
- 7日(月) 伊丹市少年補導委員連合会定例理事会
- 10日(木) 少年を守る日 市内広報・一斉補導

電話相談・来所相談

当センターの青少年に関する「なやみの相談」の概要は次のとおりです。

◆電話・来所相談の件数 《平成28年2月末まで》

	本年度	昨年同期	昨年比
電話相談	123	129	-6
来所相談	39	27	+12

- 電話相談で最も多かったのは「しつけ・子育て」、続いて「親子関係」「身体・健康・発達障害」に関する相談でした。程度や状況は様々ですが、「いじめ」や「不登校」に関する相談も数件ありました。来所相談の増加は、1回限りで終わるのではなく、ニーズを踏まえながらの継続的な相談に力を入れたことによるものです。

ただ話を聴いてほしい人、何らかの助言や答えを求めている人など、相談は様々ですが、相談者の思いを受けとめ、傾聴することを大切にし、相談してよかったと思っただけのよう心がけました。

白ポストによる 有害図書類の回収状況

白ポストに入れられた、青少年に悪い影響を及ぼす有害な図書・DVD等の回収を毎月末に行っています。2月末現在の総数は次のとおりです。

◆白ポスト回収状況 《平成28年2月末まで》

	本年度	昨年同期	昨年比
有害図書	2,504	2,678	-174
有害AV	810	760	+50
有害DVD	4,680	4,636	+44
回収総数	7,994	8,074	-80

白ポスト設置場所 (市内16箇所)
 車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
 パラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
 女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

- 図書類の減少は、インターネットの普及が大きな要因と考えられます。また、DVDは増加していますが、その中にはインターネットからダウンロードした動画を書き込んでいると思われるDVD-Rも多く含まれます。毎月数多くの有害図書類が白ポストに入れられていることで、市民の皆様の環境浄化意識の高さが感じられます。

- 14日(月) 兵庫県青少年補導委員連合会会計監査
- 15日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
- 16日(水) 第3回少年愛護センター運営協議会
- 25日(金) 有害図書回収 (市内16カ所白ポスト)

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。